科目コード	R6006	科目名	問題解決型実践演習Ⅱ				
履修区分	必修	開講期	4年前期	授業回数	8回	単位数	1単位
担当者	甲田　宗嗣・伊藤　祥史・藤村　昌彦・平岩　和美・馬屋原　康高・上川　紀道・石倉　英樹・江越　正次朗・谷岡　龍一・藤井　紀文・田邉　淳平・中川　敬汰						
授業の概要	・理学療法士が必要とする対象者の問題を解決するという「問題解決能力の育成」に主眼を置き、総合臨床実習にて経験した症例または実習で経験した内容についてプレゼンテーションを行う。 ・そのプレゼンテーション内容について、討議し症例や障がい像の理解を深める。「臨床総合実習Ⅰ」後および「臨床総合実習Ⅱ」後に指導を行う。						
DPとの関連	①平和を希求する心と豊かな人間性を身につける						ー
	②修得した専門知識・技術を基盤にした総合的臨床能力を身につける						○
	③高い倫理観をもち、自己を変革しつづける能力を身につける						◎
	④地域社会・国際社会と協働し、人々の健康生活のニーズに対応できる能力を身につける						△
	2025年度以降の学則適用者用のDPとの関連を記載しています。2024年度以前の学則適用者は項目順や表現が異なりますので注意してください						
	※DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力						
到達目標	・症例の基本的な情報、動作観察から障害を予想し必要な検査項目を選択できるようになる。 ・検査データから症例の問題を推論できるようになる。 ・症例の障害構造を理解できるようになる。 ・問題点に対して治療項目を選択できるようになる。						
履修上の注意事項	チューターごとにゼミ形式で行うので、欠席しないように注意する。						

授業計画	回数	講義内容【担当教員】	事前・事後学修
	1	チューターごとのゼミ形式で症例検討【理学療法学専攻教員】	症例発表会の資料作成(60分)
	2	チューターごとのゼミ形式で症例検討【理学療法学専攻教員】	症例発表会の資料作成(60分)
	3	症例発表会【理学療法学専攻教員】	発表練習と発表後の振り返り(60分)
	4	症例発表会【理学療法学専攻教員】	発表練習と発表後の振り返り(60分)
	5	チューターごとのゼミ形式で症例検討【理学療法学専攻教員】	症例発表会の資料作成(60分)
	6	チューターごとのゼミ形式で症例検討【理学療法学専攻教員】	症例発表会の資料作成(60分)
	7	症例発表会【理学療法学専攻教員】	発表練習と発表後の振り返り(60分)
	8	症例発表会【理学療法学専攻教員】	発表練習と発表後の振り返り(60分)

成績評価方法	発表内容　50%、課題　50% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。

	書名・著者（出版社）	ISBNコード
教科書		
参考書		

教員からのメッセージ	開講開始時期については、チューターの指示に従ってください。 第1回～4回は、総合実習Ⅰが終了後に実施し、第５回～8回は総合実習Ⅱが終わり次第実施する。
教員との連絡方法	チューターに連絡をとること。
実務経験のある教員	本科目は、臨床経験のある教員を中心とした課題解決型教育から構成される科目です。